

# 文化力の旅 旅鶴プラン300

こころに華咲きます、足利学校

室町時代、日本全国から学生がやってくる学校があった。学費は無料、自分達で菜園や薬草園を造り管理した。中国古典思想をはじめ医学や兵学の実学も学ぶ足利学校。大地に根ざすその学識・見識は、西洋文明を携え渡来した南蛮人たちにも驚異を与える。足利には美学を育てる土壌と歴史がある。

この季節のご紹介は、  
特にございません。

あしかがフラワーパークは広さ88,000、四季折々の花が楽しめる「花の芸術村」。600畳敷きの藤棚、樹齢140年を超える4本の大藤や、長さ80mの白富士のトンネルにはただ感動。  
平成2年復元された足利学校。その輝かしい歴史、宣教師ザビエルにより「日本国中最大にして、最も有名な坂東の大学」と西洋まで紹介される。永享11(1439)年、関東管領上杉憲実が寄進の書籍は国宝指定。

この季節催事情報特にございません。



(左)あしかがフラワーパーク 白藤 (右)史跡足利学校



**史跡足利学校**  
 栃木県足利市昌平町2338 TEL:0284-41-2655  
 (開)9:00-18:30(参観)(休)無  
 (料)大人400円、高中生210円  
**あしかがフラワーパーク**  
 栃木県足利市迫間町607  
 TEL:0284-91-4939  
 (開)9:00-18:00 (休)12月31日、2月第1水木(料)  
 大人200~1600円、小人100~800円 ※開園時間、入園料は季節により変動

旅鶴倶楽部 会員特典 **入館料割引 一般 400円→330円(足利学校)**



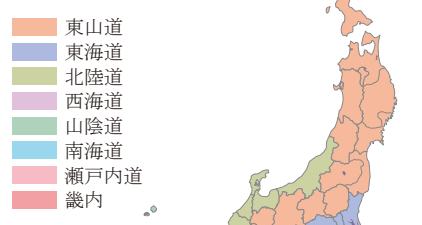
伊萬里染付鹿之子地紋鶏粟文大皿 文化〜天保頃(1804-1844)  
 所蔵・写真提供:栗田美術館

この季節のご紹介は、  
特にございません。

3万坪の敷地内に山野草の庭と白い漆喰壁が特徴の本館。日本で生産された伊萬里、鍋島の磁器に絞って常時約400点を展示する世界でも特異な美術館。世界を魅了した伊萬里赤絵の豪華絢爛さ、献上品の鍋島の非凡な様式美。シンプルにそして裂帛なる気合のごとく気魂と情熱を傾けてコレクションされた作品は不滅の光芒を放つ。

この季節催事情報特にございません。

**栗田美術館**  
 栃木県足利市駒場町1542 TEL:0284-91-1026  
 (開)9:30-17:00 (休)月(祝の翌日) (料)大人1550円、小中高校生520円



**畿内七道とは**  
 日本列島は実はひとつの地層ではなく、2億5000万年前から堆積した陸や海の地層が北や南、西や東から集まりかさなりあって出来ている。1300年前大和政権が律令国家となり、その日本の成り立ちにそって各地方を区分したのが畿内七道だった。

旅鶴倶楽部 会員特典 **入館料割引 1割**

## つながりあう日本三十六景畿内七道の文化施設をご紹介します

**東山道**  
**日光山輪王寺**  
 栃木県日光市山内2300  
 ☎0288-54-0531  
 節分会追儺式  
 平成24年2月3日(金)12:00、14:45 (2回)  
 年の節目に当たる立春の前日に一年間の無事を祈る。大法要後、年厄除追儺の豆撒きを行い、仕上げに「縁喜がらまき」を行う、厳粛かつ賑やかさに荘厳な境内は包まれる。



節分会から撮影風景画像 写真提供:日光山輪王寺

**東山道**  
**善光寺**  
 長野市大字長野元善町491-1  
 ☎026-234-3591  
 節分会  
 平成24年2月3日(金)  
 13:00~  
 福男・福女が青鬼・赤鬼や善光寺木遣りとともに行列で本堂へ向かい、追儺式(ついなしき)の後、回廊から参詣者に福豆をまく。事前に申し込めば福男・福女として参列可能。



節分会 写真提供:善光寺

**東山道**  
**中山道広重美術館**  
 岐阜県恵那市大井町176-1  
 ☎0573-20-0522  
 企画展  
**「保永堂版東海道五拾三次之内」**平成24年3月8日(木)~4月1日(日)  
 東海道五拾三次之内[庄野] 所蔵・写真提供:中山道広重美術館  
 江戸期の浮世絵版画より、歌川広重の代表作「東海道五拾三次之内」を全点揃いで展示するとともに、初お披露目の稀品を公開し、江戸時代の東海道の旅路を紹介。

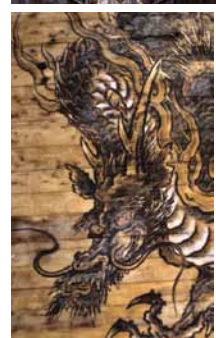


東海道五拾三次之内[庄野] 所蔵・写真提供:中山道広重美術館



法堂 蟠龍図 写真提供 相国寺

**知的で品のある狩野光信の龍**  
 禅宗寺院の法堂は、住持が仏法の要諦を説く最も重要な伽藍。相国寺の法堂は、1605(慶長10)年豊臣秀頼が建立した最古で最大の法堂建築。1788(天明8)年の大火から法堂を守ったのは天井に描かれる仏法守護の八神、八部衆の龍。室内中央で手を叩くと、床と天井面の仕組みでカラカラ音が返る「鳴き龍」は、天才絵師・狩野永徳の長男で、知的かつ穏やかな作風の光信の筆によるもの。  
 \*12月8日まで公開



**相国寺**  
 京都市上京区今出川通烏丸東入  
 TEL:075-231-0301

今回ご紹介する文化施設の催事につきましては、東日本大震災の影響で一部に変更する可能性もございます。最新の情報は、右のサイトでご確認を!

**東日本大震災 文化施設応援サイト**  
 公刊の事でも、文化として歴史を守っているのとおり。  
 協力:日光山輪王寺 龍盛堂仏像部 0288-17860

**旅鶴 応援 検索**  
 平成23年4月15日開設